

2024

令和6年6月27日

第15号

(通算120号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!

2026年 県立短大は「大学校」に変わります。



1 ベトナムと交流深める



栄智徳教務課長、日熊講師

ハノイ工科大学での記念写真

本校は、大学校化に向けたグローバル化対応と、「産業の担い手人材育成/確保(県基本方針)」の一環としてベトナムへの視察調査を6月5日(水)~7日(金)に実施しました。

主な訪問先は①ハノイ工科大学 ②SEKISHO VIETNAM ③日越大学 ホアラックキャンパスです。

視察調査に当たった栄智徳教務課長は「令和8年度に開設する情報テクノロジー大学校(仮)では、外国人材との協働体験やコミュニケーションのレベルアップが期待されており、親日国でもあるベトナムの優秀な学生が、本校に目を向ける機会となったと思う」また、日熊啓介講師は「優秀な人材確保のために、各自治体、企業が現地で活動していることを肌で感じた」と話していました。

本県の企業では、以前からベトナムの人材を対象とした積極的な受け入れ活動が行われており、本校においてもベトナムとの優秀な人材の交流が期待されています。



於：ハノイ工科大 作品展示会



於：SEKISHO VIETNAM



於：日越大学でのミーティング

2 視野広がる就職支援

本校では、学務グループを中心に進路支援を行っています。6月25日の昼休みに小林守専任講師と光石則幸専任講師が二年生の面談を行っていました。

面談後の学生は「ひとりで考えるより視野が広がった」、「本当に面倒見の良い先生方で有難い」と話していました。



小林専任講師



光石専任講師

3 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事＞ 日本経済新聞(2024年6月8日)
集中力、引き算で質向上
デジタル時代、課題明確に

●横島空馬さん(東海高卒)

◇要約：集中力は、人間の脳にとって最も大切な働きの1つである。しかし、スマホの登場により人間の集中力が下がってきている。

集中力には自己肯定感が必要で、その時々での明確な学びの戦略、行動方針が必要になってきている。

◇感想：スマホを使うようになってから、勉強の集中力が落ちたと思った。記事にあったように、デジタル時代は集中力が低くなっていると思った。

また、自信を持って何かに向かって取り組むことで集中力が向上すると思った。

●生畑目秀弥さん(那珂高卒)

◇感想：デジタル時代となり、かつてないほど情報が氾濫して、脳活動の引き算を通して一つのことに集中することが難しくなっている。その為、これからは本をたくさん読んで集中力のトレーニングをしていこうと考えた。



●檜山花蓮さん(水戸桜ノ牧高卒)

◇感想：以前の記事トレで睡眠の大切さを読んだ。今回、自己肯定感も大切なことが分かった。

「根拠のない自信」を持ち続けられるよう努力し、自分が行きたい方向を決めて明確なビジョンの元に集中して確実に成長していきたいと思う。

●野村未結さん(水戸第二高卒)

◇感想：デジタル時代になってから、Webで検索したり、ゲームをしたりと集中力がなくなってきているのが分かる。

集中力が途切れると計算できなくなったり、文章を考えられなくなってしまう。休息をとることで、良質な集中力と創造力を得ることが出来ると思う。



●海野雄哉さん(土浦工高卒)

◇感想：集中力に必要なものは、引き算であること知った。これからは、意識して行動しようと思いました。また、デジタル時代となり、情報が氾濫しているので、必要な情報を取捨選択し吸収していきたいと思う。

